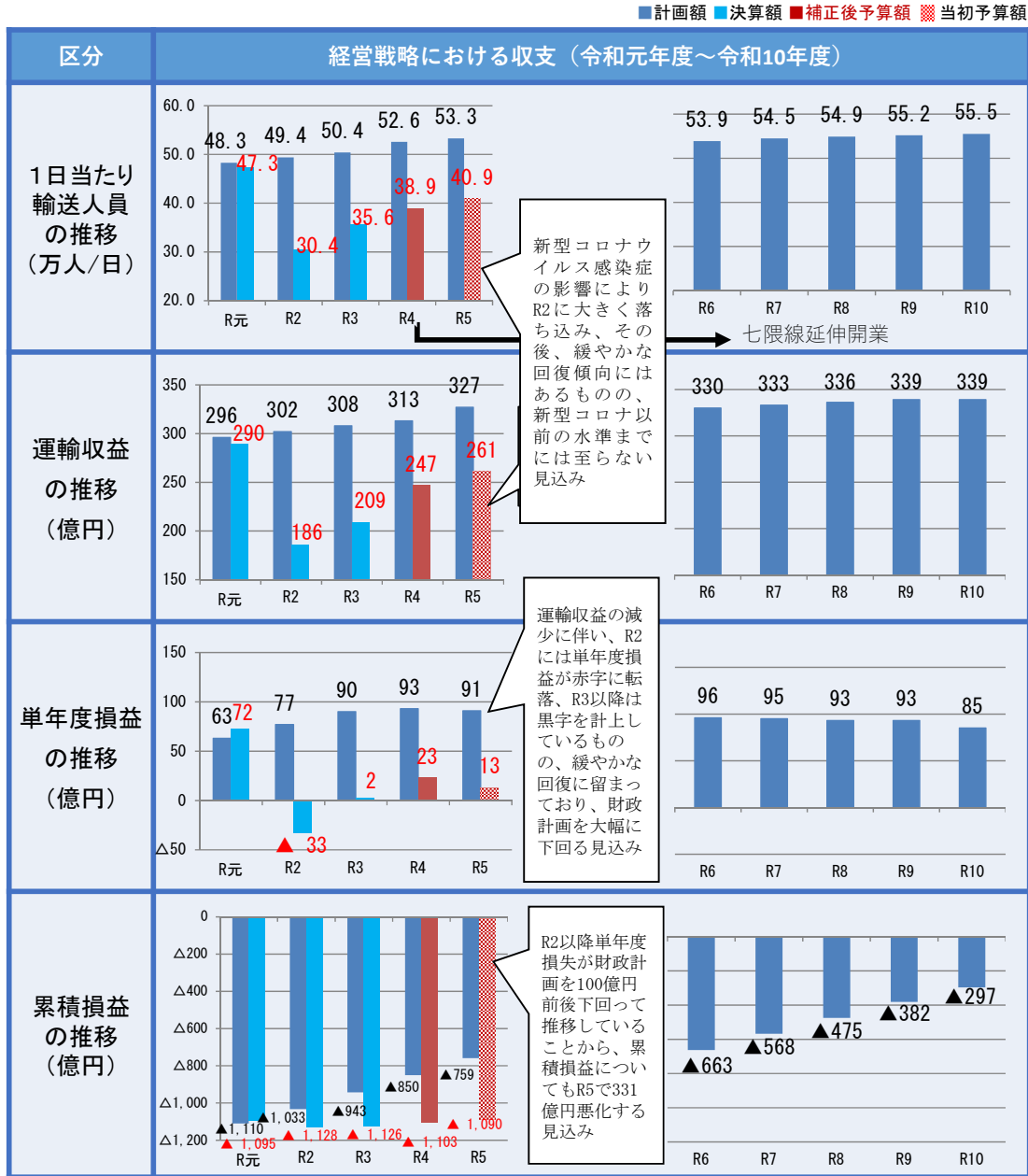


1. 経営理念

私たちは、日常を支える公共交通機関として、安全・安心を何よりも優先するとともに、質の高いサービスの提供にチャレンジし続けることで、お客様と福岡のまちの笑顔と元気を運びます。

2. 財政計画 (平成31年2月公表の経営戦略における数値)



3. 地下鉄を取り巻く経営環境の変化

○令和5年度は、令和4年度末よりも累積欠損金は減少、企業債残高も縮減傾向を維持。
 ○一方で、輸送人員については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和5年度は、財政計画値よりも23%の減を見込んでおり、今後も、回復傾向は続くものの、新しい生活様式の定着等により、新型コロナ以前の水準までは回復しない見込み。
 ○加えて、世界的な物価高騰と円安の進行、特にエネルギーコストの上昇などが経費の増大圧力となり経営を圧迫するほか、風水害の激甚化に伴う計画運休の実施や首都圏の鉄道車内での傷害事件など、安全安心の確保に関わる環境変化にも適切に対応していく必要がある。
 ○以上のように経営環境が激変しているなか、今後の経営の見通しを立てるうえで、将来推計人口や、ポストコロナにおける地下鉄利用の動向、七隈線延伸開業後の人流動向の見極め等が必要になるが、コロナ禍が収束していない状況を踏まえると、中長期の輸送人員や輸送収益の見通しについては、現時点では合理的で確度の高い予測は困難であり、今しばらく、時間を要する見込みである。

4. 施策・事業の推進

(1) 現行経営戦略の改定・集中経営改革の推進

○適切な需要予測を行うには、今しばらく、時間を要する見込みであることなどを踏まえ、令和5年度に予定していた、現行経営戦略(財政計画)の改定は、市の上位計画の改定時期も見据えて令和6年度末とし、令和7年度からのスタートを目指す。
 ○なお、令和5年度と6年度の2年間については、集中経営改革期間として、**現行経営戦略に基づく取組みに加え、更に強化すべき事項や新たに取り組みべき事項**など、以下の**経営指針及び改革の軸**を踏まえた取組みを実施することで、集中的かつスピード感をもって経営改革を推進する。

<経営改革において特に重要な経営指針>

- ① 経営環境の変化への即応性
地下鉄を取り巻く経営環境は激変しており、今後の経営改革においては、これらの変化に対応し、スピード感をもって取り組んでいく。
- ② 持続可能な事業構造の構築
今後到来する人口減少時代における急激な需要の減少を想定し、長期にわたり地下鉄事業を安定的に持続できる事業構造、財務構造を構築していく。

<改革の軸>

- 1 営業施策などの戦略的な展開
- 2 広告・駅ナカ事業などの戦略的な展開
- 3 経営環境の変化への対応
- 4 持続可能な事業構造の構築
- 5 経費の縮減
- 6 組織の戦略的再編
- 7 人材の確保・育成

(2) 令和5年度における主な取組み

① 安全・安心の確保

安全を最優先に、施設・車両などの確実な保守点検・維持管理と計画的な改修等による安全性の確保や、運輸安全マネジメントのスパイラルアップを図るとともに、教育訓練の充実などによる安全スキルの向上及び組織風土の確立に取り組むほか、自然災害やテロ対策の強化に取り組む。

車両、施設などの安全性の確保

- 【1000N系車両更新事業】**
 - 運用開始から約40年経過した1000N系車両更新のため、新造車両製作を推進
- 【2000系車両大規模改修】**
 - 車体の補修、主要機器の更新等を実施。全6編成のうち令和5年度に6編成目の改修車両運行を開始
- 【3000系車両列車制御装置更新】**
 - 自動列車制御装置(ATC)、自動列車運転装置(ATO)の更新等を実施
- 【駅内外装大規模改修】**
 - 経年劣化が進んだ博多駅、中洲川端駅の内外装改修工事、大濠公園駅の実施設計を実施
- 【姪浜車両基地大規模改修】**
 - 姪浜車両基地の安定的な機能維持のため、検車庫大規模改修工事等を実施
- 【土木構造物の長期健全性の確保】**
 - トンネルなどの土木構造物について、長期計画に基づき補修工事を実施

災害対策などの強化

- 【大型台風接近時などの計画運休と情報発信】**
 - 西鉄やJR九州などの他の事業者と連携を図りながら計画運休を実施し、利用者への情報発信を適切に実施
- 【集中豪雨などによる浸水対策事業】**
 - 局地的な集中豪雨などによる浸水に備え、駅出入口の経年劣化した止水板の改良及び収納箱の設置工事を実施し、浸水対策を強化
- 【地下鉄駅の一時的滞在場所としての活用】**
 - 大規模地震発生時の帰宅困難者を想定し、天神・博多地区にある地下鉄駅の一時的滞在場所としての活用を検討
- 【防犯対策の強化】**
 - テロや痴漢などの車内犯罪を撲滅するため、県警との連携による「見せる警備」や実行性のある非常時訓練を実施する
 - 2000N系及び3000系車両に車内防犯カメラを設置
 - 天神駅及び博多駅に防犯カメラを増設

② 快適で質の高いサービスの提供

お客様により満足いただける高品質なサービスを提供するため、スムーズな輸送サービスや快適・便利な環境づくりに取り組むとともに、高齢者や障がいのある人に対応したサービスの提供や来街者にも使いやすい環境整備など「ユニバーサル都市・福岡」にふさわしい地下鉄に向けた取組みを推進する。

快適・便利な環境づくり

- 【乗車マナーの向上】**
 - 乗車マナー向上に関する取組みを継続実施
主な取組み例：七隈線駅のホームへ床サイン（整列乗車ライン）の設置 など

快適・便利な環境づくり（続き）

- 【駅の空調設備の改良】**
 - 七隈線における空調設備の改良（駅内の排熱機能向上）
- 【より安全な乗降の確保】**
 - 七隈線車両運転モード改良（扉操作方法の改良）の実施

来街者にも使いやすい環境整備とサービス提供

- 地下鉄車内や駅の案内サインについて、より分かりやすい案内表示に改修
- 博多駅に多言語対応が可能な駅コンシェルジュを引き続き配置
- 世界水泳選手権福岡大会・世界マスターズ水泳世界選手権九州大会期間中は福岡空港駅にも駅コンシェルジュを配置

③ 営業施策などの戦略的な展開

経営基盤を強化するため、マーケティングに基づく戦略的な営業施策の推進をおこなうとともに、広告・駅ナカ事業収入の確保や未利用資産の有効活用に取り組み、運輸収入・運輸外収入の確保を図る。

需要創出・利用促進策

- 西鉄やJR九州などの他の公共交通機関と連携・協力し共同PR事業などを実施することで来街需要の拡大等に取り組む
- 七隈線延伸開業を契機とした、集客施設等との連携や観光資源を活かした周遊コースの開発・情報発信等の需要創出・利用促進策を実施することで地下鉄利用の魅力の向上、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少したお客様の地下鉄利用の促進を図る

お客様のニーズに応じた料金やダイヤの検討等

- お客様のニーズに応じた既存の企画券の総点検を行い、七隈線延伸開業の効果やデータを踏まえた新規の企画券の導入について検討
- JR筑肥線との相互割引制度の拡充に向けて取り組む
- 七隈線延伸に伴うお客様ニーズを踏まえたダイヤの点検を実施

タッチポイント機能の強化等による運輸外収入の確保

- 【広告料収入、駅ナカ事業の戦略的営業】**
 - 七隈線延伸開業に合わせた広告販売促進キャンペーン
 - 駅ナカ店舗について、既存店舗の事業者公募や新規店舗区画（博多駅筑紫口2箇所等）の創出と事業者の誘致
 - 駅の小スペースを活用した無人機の誘致
- 【企業資産の有効活用】**
 - 未利用資産などの企業資産の有効活用に取り組む

④ カーボンニュートラルの推進

カーボンニュートラルに向けて、地下鉄用電力に再生可能エネルギー由来電力の計画的導入など、環境対策に関する取組みを推進する。

環境対策に関する取組み

- 脱炭素化を推進するため、地下鉄用電力に再生可能エネルギー由来電力を計画的に導入
- 省エネの取組みとして、トンネル内照明や駅構内の電照広告等のLED化を推進
- 1000N系車両について、より軽量で省エネ性能に優れた新造車両への更新を推進（再掲）
- 2000系車両大規模改修において、より省エネ性能に優れた機器への更新等を実施（再掲）

⑤ 経営基盤の強化

経営基盤を強化するため、地下鉄の中長期的な経営の基本計画である経営戦略の再構築に取り組むとともに、福岡のまちの発展に貢献するため、駅周辺のまちづくりに対応した駅施設の改良や、沿線の地域、イベント、施設などと連携した取組みを推進する。

経営戦略の再構築

- 新型コロナウイルス感染症の影響など、経営環境の大きな変化に戦略的かつ迅速に対応し、将来にわたって安定的に事業を継続するため、平成31年2月に策定した「福岡市地下鉄経営戦略」について、再構築に着手

新技術の積極的な活用（DXの推進）

- 福岡市実証実験フルサポート事業を活用した「クレジットカードの非接触決済機能を活用した鉄道改札通過に関する実証プロジェクト」等による、お客様の利便性・快適性の向上や、交通局内の業務環境の改善による生産性の向上等、新たな技術を活用したDXの検討・推進に取り組む

投資計画の見直し

- 輸送の安全を確保するため、車両や施設・設備について、長期的な視点をもって、予防保全的に修繕や更新を実施
- 安全・安心への投資を確保しつつ、投資の優先度や長寿命化、ライフサイクルコストなどを考慮し、投資の総額抑制と平準化に向けた投資計画の見直しに着手

沿線の地域、イベント、施設などとの連携

- 近隣の街並みや地域の歴史、観光資源などの特性を踏まえた駅ごとの魅力づくりに取り組む
- 世界水泳選手権福岡大会・世界マスターズ水泳世界選手権九州大会（令和5年7月開催）の気運醸成と地下鉄利用の促進を図るため、車内での案内放送や駅の装飾等を実施
- 世界水泳選手権福岡大会・世界マスターズ水泳世界選手権九州大会期間中は福岡空港駅にも駅コンシェルジュを配置（再掲）

広報・情報発信の強化

- 事務事業や経営状況について、市民や利用者に向けて積極的な広報や情報発信に取り組む

5. 人材育成・活性化、コンプライアンスの推進等

人材確保と育成

- 令和5年4月に改定した人材育成プランに基づき、職員1人ひとりがその果たすべき役割と能力を自覚し、多様なお客様ニーズに的確に対応できる人材を育成するとともに、引き続き技術関係職員における技術力の継承・向上や運輸関係職員の計画的な採用を図る

コンプライアンスの推進

- 安全・安心な輸送サービスを提供し、お客様の信頼と期待に応え続けていくために、服務規律の確保及び公務員倫理の確立に向けて取り組むとともに、コンプライアンスの徹底を推進